

第3回 国道229号乙部町館浦地区斜面对策技術検討会

議事概要

■ 第3回検討会：令和3年12月13日（月）9時00分～10時45分

【議題】

- ・ 第1回技術検討会の概要
- ・ 第2回技術検討会の概要
- ・ 起点側斜面を含めた現道斜面評価
- ・ 応急及び恒久対策工について
- ・ 今後の調査検討に向けて

【議事概要】

○事務局より第1回技術検討会の概要、第2回技術検討会の概要及び起点側斜面を含めた現道斜面評価について説明し、委員より以下のとおりご助言をいただいた。

- ・ 今回崩壊した箇所以外でも同様の崩壊が懸念されることから、一連の斜面として評価することは妥当と考えられる。
- ・ 過去の崩壊履歴、現況斜面の状況及び現況斜面と現道のクリアランスから、起点側の特殊通行規制区間を含め、対策範囲とすることは妥当と考えられる。

○事務局より応急及び恒久対策工、今後の調査検討について説明し、委員より以下のとおりご助言いただいた。

- ・ 対策工については、事業期間や施工の安全性等を踏まえると応急対策工の実施が困難であるため、早期に着手できるよう恒久対策工の検討を進めることが妥当と考えられる。
- ・ 恒久対策工（別線ルート）のうち山側トンネル案は、事業期間及び事業費が優位となっているが、施工の安全性、維持管理、地域資源の観点も考慮し、各恒久対策工（案）を検討する必要がある。また、土石流の影響のほか、地すべり地形の有無などの地形地質状況、並びに既往トンネルの施工状況について、既往文献等を活用し調査を進めていくことが重要である。
- ・ 今回の議論を踏まえ、事務局で各恒久対策工（案）の追加調査を進め、次回以降、妥当性等を検証・確認し、最適な恒久対策工（案）について決定する必要がある。